

平成 27 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	10	05	01	0413	生涯学習振興計画策定事業	
総合 計画	分野	人づくり				
	政策	3-3	生涯学習の推進			
	施策	1	自主的学習の推進			
目的	生涯学習振興計画の策定					
対象	市民					
意図	生涯学習を具体的に推進していくための取り組みを明らかにする					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
<p>○生涯学習振興計画の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆生涯学習に関する市民意識調査の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・市民2,500人を対象（回収サンプル目標1,100枚） ・満15歳から79歳の市民から無作為年代別男女別抽出 ◆花巻市社会教育委員会議において計画素案の検討 ◆パブリックコメントの実施 						
市民参画の有無 [無]						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	補助・助成	委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	
① 市民意識調査の実施		回	計画	1		
			実績	1		
② パブリックコメントの実施		回	計画	1		
			実績	1		
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	
① 計画の策定			目標	1		
			実績	1		
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標 の達成度	目標値より高い	<input type="radio"/>	概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)						
生涯学習振興計画の策定は、生涯学習を具体的に推進していくための取り組みを明らかにするものであることから、指標として設定した。						
目的 妥 当 性	公共関与の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民のライフスタイルや生活課題が多種多様化している中で、計画の策定を通じ、生涯学習への取り組みを明らかにすることは、総合的・横断的な施策・事業の実施に大きく貢献するものと思料する。 				
	成果の向上余地	<ul style="list-style-type: none"> ・総合計画の実効性を確保・補完していくために、分野別個別計画を策定し、生涯学習の観点に立ち、施策や事業を連携させることは、施策や事業を単体で実施するよりも、より多くの相乗効果をもたらすことが期待される。 				
	事業費・人件費の削減余地	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が関わるのは、委員や講師との連絡調整などが主な業務であり、人件費の削減余地はない。 				
効率性	事業費の削減余地がある					
	人件費の削減余地がある					
	どちらも削減余地がない					
公平性	受益と負担の適正化余地	<ul style="list-style-type: none"> ・計画は、特定の市民に向けて策定するものではなく、全市民を対象としたものであり、受益機会は均等である。 				
	受益機会の見直し余地がある					
	費用負担の見直し余地がある					
○ 適正である						
総合評価 …上記評価結果の総括						
<ul style="list-style-type: none"> ・総合計画の分野別個別計画とし、同計画の実効性を確保・補完していくため、計画を策定し、生涯学習施策の体系及び方向性を示すとともに、生涯学習を具体的に推進していくための取り組みを明らかにした。 						

平成 27 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	05	01	0413	生涯学習振興計画策定事業

単位：千円

		26年度 決算額(A)	27年度 決算額(B)	28年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費			561		561
財 源 内 訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源		561		561

事業期間 単年度繰返 期間限定 [平成 27 年度 ~ 平成 27 年度]

部重点施策における目標

生涯学習の推進に努めます。

事業開始の背景・経緯

平成 20 年 3 月に策定した花巻市生涯学習振興計画が平成 27 年度をもって計画期間が終了することから、第 2 次計画を策定するもの

事業概要

○生涯学習振興計画の策定

- ◆生涯学習に関する市民意識調査の実施
 - ・市民 2,500 人を対象 (回収サンプル目標 1,100 枚)
 - ・満 15 歳から 79 歳の市民から無作為年代別男女別抽出
- ◆花巻市社会教育委員会議において計画素案の検討
- ◆パブリックコメントの実施

事業を展開する上で課題、留意事項 / 意見・要望等

○市民参画の手法については、市民意識調査やパブリックコメントを実施することから、市民参画を通じて多くの意見を計画に反映させる。

○「花巻らしさ」を全面に出しながら、定住を見据えたまちづくりにもつながるような意味合いを持ったものとする。

担当部署 部名 生涯学習部 課名 生涯学習課 担当係長 上野 剛 内線 401
(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

1 生涯学習に関する市民意識調査の実施 416千円

需用費 75、役務費 341

市民 2,500 人へ郵送によるアンケート調査 (平成 27 年 6 月実施) □

2 計画素案の策定 145千円

報酬 144、需用費 1

社会教育委員会議開催

平成 27 年 5 月～平成 28 年 3 月 (4 回) : 計画素案の検討・調整

3 パブリックコメントの実施

平成 28 年 1 月下旬から平成 28 年 2 月下旬に実施

第二期花巻市生涯学習振興計画の策定(561千円)

【目的】平成 20 年 3 月に策定した花巻市生涯学習振興計画が平成 27 年度をもって計画期間が終了することから、第 2 次計画を策定するもの。

【内容】

- ・総合計画の分野別個別計画とし、同計画の実効性を確保・補完していくため、生涯学習施策の体系及び方向性を示し、生涯学習を具体的に推進していくための取り組みを明らかにする。
- ・花巻市の各計画及び施策や事業との整合性に配慮し、特に各計画の中で教育・学習的な側面を抽出し、生涯学習の観点に立って、施策・事業を連携させていくことを重視する。
- ・「花巻らしさ」を全面に出しながら、定住を見据えたまちづくりにもつながるような意味合いを持つものとする。

(構成案)計画の基本的な考え方、計画体系、基本計画の内容、推進体制など

【区分】基本計画

【計画期間】平成 28 年度から平成 31 年度(5 年間)

【関係法令】

- (1) 教育基本法 第 3 条(生涯学習の理念)
- (2) 生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律 第 11 条(市町村の連携協力体制)
- (3) 社会教育法 第 3 条(国及び地方公共団体の任務)第 2 項(学習機会の提供と奨励)・第 3 項(社会教育と学校教育の連携、家庭教育の向上)
- (4) 学校教育法 第 30 条(生涯にわたり学習する基盤を培う)・第 31 条(第 30 条の目的達成のため体験活動等の実施にあたっての社会教育(団体)と学校との連携)